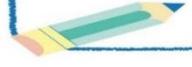


／全学年が1枚にまとまったおたよりに変わったよ！／

しもぎょうとしょかん 下京図書館だより



ふゆごう (令和5年12月発行)

《低学年向け・よみもの》

『心をひらいて 音をかんじて』



『耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー』

シャノン・ストッカー／文、デヴォン・ホルズワース／絵

中野 怜奈／訳 光村教育図書

音楽が大好きだったのに10歳

の時、小さな小さな音しか聞こえ

なくなったエヴェリンは、耳の

不自由な人が行く学校をすすめ

られます。でも、エヴェリンは

音楽も行きたい学校もあきらめ

ませんでした。今も活躍する

打楽器奏者のほんとうのお話です。



『コブシメがやってきた！』



高久 至／写真・文 アリス館

忍者のように形や色が変わる

大がたのイカのコブシメ。

サンゴ礁の海でオスどうしは

戦って、メスはサンゴの中に

卵をうんで、かわいい赤ちゃん

がうまれます。

コブシメのみりよくがたっぷり

の写真絵本です。



もうすぐ冬休み！たのしいことがたくさん待っているね！休みの間にいろいろな本を読んでみよう！
ここで紹介した本のほかにも、下京図書館にはおもしろい本がたくさんあるよ！ぜひ遊びに来てね！

《中学年向け・よみもの》



『たのしいことば！！オノマトペ大図鑑』

青山 由紀／監修 国土社編集部／編 国土社

「うきうき」、「にこにこ」など

生活の中でたくさん使われている

オノマトペ。日本語は外国語よりも

たくさんあります。この本にはどんな

ときに、どんなふうにオノマトペを

使うのが、絵や例文と一緒にくわし

くのっています。また、この言葉もオノマトペなのかと

日本語のおもしろさも感じられますよ。



『石油のものがたり』

大河内 直彦／文 山福 朱実／絵 福音館書店

燃料や、プラスチックに

なる石油はどうやってできる

のでしょうか。どうして、

たくさん石油が取れる国と

そうでない国があるのでし

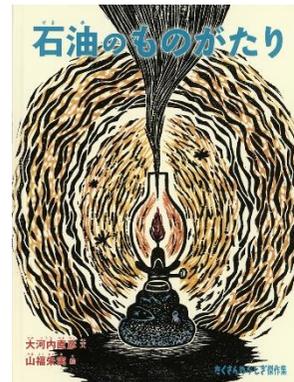
ょうか。この本は全ページ

が木版画で描かれていて、

ものがたりになっているの

で、わかりやすく石油や

地球の歴史がわかります。



《高学年向け・よみもの》

『大陸移動の大研究』

なぜ動くのか？ どう変わってきたのか？

吉田 晶樹／監修 PHP研究所



みなさんは大陸が昔、つなが

っていたことを知っていますか？

1910年にウエグナーという人

が世界地図を見て、海岸線

がパズルのように合っていること

にきがついたのです。その後、

その説が正しいとどう証明した

のでしょうか。他にも、今も動き

続けている大陸の過去や未来のことや、

気候の変動で今まで5回大量絶滅があ

ったことなどが、たくさんの図や絵と

ともに説明されています。

『ピースフル プラネット なぜ戦争が』

起きるの？ 平和な世界を作るためにできること』

アンナ・クレイボーン／作 大山 泉／訳 評論社



ウクライナとロシアの

戦争が始まって、さらに

イスラエルでも戦争が

始まってしまいました。

今も戦争がなくならない

地球で、全ての国が平和

になる方法があるでしょ

うか。平和になった事例

などもしめしながら、解決策も書いています。



《低学年向け・ものがたり》
『はなとりかえっこ』



角野 栄子 / 作 さとう あや / 絵 偕成社

はなとりかえっこ



くしゃみがとまらないアラさん。「このはなすててしまおうかしら」とつぶやいていると、ドアをノックする音が。ぶたさんがやってきてはなをとりかえようといわれます。はなをとりかえたアラさん。ぶたさんのはなでおそうじを始めてみます。

『ぼくのなまえは、ミルクなの』

服部 千春 / 作 たるいし まこ / 絵 岩崎書店



弟のねこがくるときいて、よろこぶミルク。でも、じぶんがつかっていたベッドは弟のものになってしまおうし、ちょっと弟をさわろうとしたら、おこられてしまおうし、みんな子ねこにむちゅうで、ミルクのごはんの時間もわすれてしまったみたい。ミルクはかなしくなって、家をでて、ただのねこになるときめます。ミルクは家にかえってこられるのでしょうか。



《中学年向け・ものがたり》



『ポラン先生ときけんなマジックショー』

北川 佳奈 / 作・絵 小学館



ちょっと人づき合いが苦手なためきの小説家ポランは静かな森でひとり住んでいます。でも、マジシャンをなのるドリというカモがやってきて、にぎやかなところへつれていってくれと言います。木にドリをくくりつけて、逃げますが、マジックでドリはもどってきてしまいます。二人は列車にのって、きけんな旅が始まります。

二人は列車にのって、きけんな旅が始まります。

『パフィン島の灯台守』

マイケル・モーパーゴ / 作 佐藤 見東夢 / 訳
ベンジー・デイヴィス / 絵 評論社



嵐の夜、無口な灯台守ベンにボートで命を救ってもらった5歳の少年アランはそのことを忘れず、大きくなってベンに会いにいきます。やがて、二人はいっしょに暮らし、その島に住むきずついた鳥パフィンをすくいます。絵も楽しめる物語です。



《高学年向け・ものがたり》

『図書館がくれた宝物』



ケイト・アルバス / 作
榎田 理絵 / 訳 徳間書店



たった1人の肉親の祖母がなくなった三人兄弟は後見人となる人を見つけないと祖母の遺産を手に行かないと言われます。学童疎開先で探すことになりませんが、引き受けた家族に、ひどいあつかいをされます。三人にとって図書館が本を借りるの

が救いで、図書館司書のミュラーさんが優しくしてくれます。

『ゆうすげ村の紙すき屋さん』

茂市 久美子 / 作 門田 律子 / 絵 講談社



ゆうすげ村の山の中に和紙をすいて暮らすかえでさんの工房があります。工房には動物や妖精など不思議なお客さんがやってきます。「つるばら村」シリーズ(全10巻)に引き続き、変わらぬ楽しさ、穏やかなファンタジーの「ゆうすげ村」シリーズの2冊目です。



下京図書館 (公財) 京都市生涯学習振興財団

〈場所〉 ☎600-8449 下京区新町通松原下る富永町 110-1 下京 修徳ふれあい福祉会館 4 階 ☎351-8196

〈開館時間〉 月・水～金曜日 午前9時半～午後7時 土・日曜日・祝日 午前9時半～午後5時 休館日：火曜日

貸出中の時は予約してね！